

令和6年 第864回小浜市教育委員会定例会 会議録

開催日時	令和6年2月16日(金)		開会 15:35 閉会 17:25		
開催場所	市庁舎4階401会議室				
出席委員	窪田教育長	上田職務代理者	村上委員	桂田委員	坂下委員
欠席委員					
事務局	谷教育部長	内田教育総務課長	日比野生涯学習スポーツ課長	松宮 GL	井上 GL
	栗原 GL	和久田 GL	小笠原 GL	安田企画主査	上林指導主事
傍聴者					
会 議				会議の結果	
<p>委員会開会</p> <p>(教育長) 宣言および開会あいさつ</p> <p>先程、今年度の教育委員会表彰を執り行い、1団体3名を表彰させていただいた。加斗みどりの少年団については、昨年12月に開催された県の発表会において最優秀賞を受賞し、今後全国審査を受けることになっている。ここで全国の優秀団体5団体に選ばれると、今年10月19日に福井県で開催される全国緑の少年団活動発表大会交流集会で発表することとなる。大変楽しみにしている。またその翌日には第47回全国育樹祭が福井県で開催され、皇族殿下がご臨席されるが、そこで加斗みどりの少年団が福井県代表として発表することが決定している。各小中学校にも来週の校長会で報告し、来年度に向けて各学校の励みになるとよいと考えている。</p> <p>今年度も残り1か月半となった。各学校ではそれぞれ取り組みの検証を行い、来年度のプランを練っているところと思う。来週の校長会では、市教委としても来年度の方針案を示したいと思っている。このことについては、本日の教育長報告の中でご説明し、ご意見を賜りたいと考えている。よろしく願いしたい。</p> <p>1 会議録の承認について</p> <p>第863回教育委員会定例会会議録 《承認》</p>					

会議録署名人2名の選任

第864回教育委員会定例会会議録署名委員選任 《村上委員、坂下委員》

2 報 告

・報告第3号 諸般の報告 令和6年1月18日～令和6年2月15日
行事予定 令和6年2月16日～令和6年3月31日 《承認》

・報告第4号 小浜市ふれあいスクールの移転について 《承認》

坂下委員 移転スケジュールの中に「利用者への説明」とあるが、保護者等はまだ知っているのか。

事務局 移転については保護者も関心があり、西川所長から「移転の方向である」とお知らせはしている。遠敷地区へも説明をする予定である。

上田委員長 教室および相談室があるが、保健室も必要ではないか。

事務局 相談室にパーテーションで区切り、プライベート空間を設けて設営したいと考えている。

村上委員 移転先の旧遠敷小学校新館は築何年か。

事務局 築37年である。

村上委員 ふれあいスクールとして2階を使用する予定になっているが、1階は何かに使われているのか。

事務局 1階は災害時の避難所として使用しており、常時使っているわけではない。

3 議 案

・議案第2号 令和5年度3月補正予算の要求について 《承認》

上田委員長 ふれあいスクールの改修工事について、相談室となる場所の床の改修はしないのか。

事務局 基本的には職員が使う場所のため、現状で使用可能と考えている。なるべく

職員が使う場所の費用を抑え、保護者の送迎等で必要となるグラウンドのアスファルト舗装等に費用をかけたいと考えている。

坂下委員 文化会館の使用料149万円減額とあるが、元々予算額はいくらだったのか。また、減額理由は何か。

事務局 約266万円の使用料収入を見込んでいた。コロナ禍が明けたことにより使用者が戻ってきているが、減免対象団体が多かったことや、見込んでいたほどまで使用者数が回復しなかったことが理由である。

村上委員 部活動指導員設置事業について、当初予算を減額補正した理由は何か。

事務局 当初予算では、4月から部活動指導員4名を雇用する見込みであったが、実績では、4月は2名の雇用でスタートし、年度途中で新たに2名を雇用したため、不用となった費用を減額した。

・議案第3号 令和6年度当初予算の要求について 《承認》

村上委員 小中学校トイレ改修事業について、この事業において何校の改修を行うのか。

事務局 現在3校にハイタンク式の男子小便器が残っているため、個々の小便器に洗浄ボタンを設置する改修を行う。また、校舎トイレの洋式化と体育館横の男女兼用トイレの改修の設計費用を見込んでいる。

村上委員 図書館運営管理費にLED化工事が計上されているが、市立図書館の4階が暗いので明るい環境にしてほしい。

事務局 4階から5階は吹き抜けになっており、来年度5階をLED化することで4階も明るくなる。また、吹き抜けになっていない4階部分については、令和7年度にLED化を実施したいと考えている。

上田委員長 スクールソーシャルワーカー（SSW）とスクールカウンセラー（SC）を集めて一年間の反省等を教育委員会事務局と話し合う機会を設けているのか。

事務局 SSWは県から派遣されており、県の研修会でSSWが集まってケースワーク等を行っているが、市が雇用しているSCは個別に市教委へ報告相談を行っており、SCが集まる機会はない。従ってSSWとSCが集まる機会もない。

- 上田委員長 SSWは1ヶ月に何校くらい訪問するのか。
- 事務局 年度当初は全小中学校を訪問し、現状把握してもらっている。その後は、学校から要請を受けたときに訪問している。
- 上田委員長 スポーツ交流事業について、小浜市のスポーツ振興と競技力向上をどのように行っていくのか。
- 事務局 競技力向上を目指す競技団体においては、ジュニア育成や指導者育成が課題となっているため、今後も支援をしていきたいと考えている。スポーツ振興については、市民が誰でも気軽にスポーツができる環境づくりに努めいきたい。
- 上田委員長 市のスポーツ協会としては、競技力向上のために検討会等を行っているのか。
- 事務局 種目団体ごとには実施しているが、全体として実施していない。
- 村上委員 SSWは学校で行われる支援会議に参加したり、ふれあいスクール職員と相談したりはしているのか。
- 事務局 学校の支援会議には参加していないが、管理職や養護教諭、担任等から話を聞き、状況把握と助言を行っている。
- 村上委員 学校の支援会議への参加や、ふれあいスクール職員と情報共有するなど、もっと連携してもらいたい。
- 教育長 部活動の地域移行において、国の実証実験による謝金等の補助について予算化されていないが、今後どう考えているのか。
- 事務局 現在、県を通じ実証実験の希望調査が行われているところであり、小浜市が補助を受けられるとは決定していないため、当初予算においては計上していない。今後の部活動の地域移行を推進するため、国の補助を受けられることが決まれば、早い段階で補正予算として計上したいと考えている。
- 上田委員長 令和6年度に地域移行する文化部はないのか。
- 事務局 活動場所等の問題もあり、現在検討中である。

・議案第4号 小浜市ふれあいスクール設置条例の一部改正について 《承認》

4 教育長報告

・学校教育方針について

令和6年度の学校教育方針については、まず、今年度と同様に「ふるさとを愛し誇りに思う心を育む」を1番目に掲げたい。子供達の発達段階において、小浜が好きだという子供を育てることが大事だと考える。好きの度合いや質が、学年が上がるに連れて、学びの中で深まるようにしていきたい。その中で、小学校の高学年から中学校にかけては、生き方学習とふるさと学習を一体的に進める必要があると考えている。ふるさと学習で学びつつ、自分は将来どう生きていくのか、どう働くのか、どこで働くのかという生き方を考えさせていく。中学校を卒業する段階で、将来小浜市で働く“プレイヤー”となるのか、外から小浜市の“サポーター”として携わっていくのか、いずれにせよ「何らかの形で小浜と関わりを持って生きたい」との思いや志を形成していける探究的な学習の推進を目指したい。今年度は、中名田小学校と小浜中学校の学習発表会を参観したが、それぞれの段階で目指すべきものが十分に学習活動に取り入れられていた。探究的な学習の取組みレベルは上がってきており、特に学び方を学ぶレベルが上がっている。今後は、それが将来小浜市のプレイヤーとして、または小浜市のサポーターとして自分の姿を想像しながら学習ができているかが大事だと考えている。そのために、2番目の方針として、個人としても社会としても「よりよい人生を生き、よりよい社会を創っていく資質能力を育む」ことを掲げたい。この方針の柱となるのは、授業である。小浜市はこれまでから自分で考え解決していく3S学習を大事にしてきた。また、様々な価値観をもつ友達と適切なコミュニケーションをとり、対話的で深い学びをしていく中で課題を乗り越えていける子供の育成を行ってきた。その目指すべきところは変えずに、手法として授業DXを推進していく。令和6年度を『DX元年』にしたいと考えている。愛知県春日井市への視察も踏まえながら、強力に推し進めていきたい。

3番目の方針として「健康・安全で活力ある生活習慣を育む」、4番目の方針として「食への理解を深め、望ましい食習慣を育む」5番目の方針として「すべての児童生徒と教職員が、生き生きと学び働くことができる学校づくりを進める」とし、これらについては令和5年度と同様に進めていきたい。

令和6年度に大きく変わることは、2番目の教育DXを前面的に打ち出した学校教育方針を掲げることである。来週の校長会に案として示し、意見を聞いた上で、来月中には令和6年度の小

浜市学校教育方針を定めて、定例教育委員会でご承認をいただきたいと考えている。

私からの報告は以上であるが、教育委員の皆さんから中名田小学校および小浜中学校の学習発表会に参加された感想等があれば、お聞かせいただきたい。

村上委員 様々な方から刺激を受けることは、多感な時期に必要な経験と考える。それぞれのグループで多少の差はあるが、伝える力が身に付いてきていると感じた。自分の考えや目標に向けて進めていたが、まだ頭の中だけで進めている部分があるので、実際に体験し、その感想などを取り入れると、より説得力があるものになると思う。そこについては、次年度に経験できると思うので楽しみにしている。

桂田委員 小浜中学校の学校訪問を行ったが、美容や建築など自分の関心のある分野で、自分に結び付け、そこから小浜市でできることに落とし込めるグループと、まだぼんやりとしたイメージのグループがあったが、自分の好きなもの、やりたいことをしっかり持っていることに驚いた。来年度また話が聞けることが楽しみである。

坂下委員 中名田小学校の児童は楽しく学習をしていた。やはり楽しむことが一番身になり、次に繋がると思うので、とても良かった。小浜中学校は、自分がこれからどう生きていくか、しっかり自分の考えを持っていることが分かった。ここからもう一年かけて、さらに自分のやりたいことを明確化し、先ほど教育長からお話があったように、自分は小浜市のプレイヤーになるのか、それともサポーターになるのか、そのあたりの観点を踏まえて来年度のまとめとしてほしい。

5 その他

なし

委員会閉会

(教育長) 宣言

令和6年 第864回小浜市教育委員会定例会 会議録

この会議録が真正であることを確認して署名する。

小浜市教育委員会議事録署名委員

委員 村上 郁子 教育委員

委員 坂下 貴洋 教育委員